



第46回 日本救急医学会総会・学術集会

The 46th Annual Meeting of the Japanese Association for Acute Medicine

# ランチヨンセミナー21

日時 11月20日(火) 12:20～13:20

会場 第11会場

パシフィコ横浜 会議センター 4階 411+412

本セミナーでは即時に高度の専門性が要求される救急医療の現場へ遠隔診断技術を利用し、迅速コンサルテーション体制を構築した事例を発表頂き、遠隔画像診断支援で救急診療はどう変わるのか討議していきます。

## 救急画像診断：遠隔画像診断で救急医療はどう変わる？

座長 済生会横浜市東部病院 救急科 船曳 知弘



これだけは見逃したくない重要病態のCT診断：  
15分でツボを押さえる！

聖マリアンナ医科大学 救急医学 松本 純一



断らない救急を遂行する為の夜間遠隔救急画像診断  
コンサルテーション

社会医療法人厚生会 木沢記念病院 救急部門 山田 実貴人



遠隔救急画像診断コンサルテーションの導入  
数か月後での評価

岐阜県総合医療センター 救命救急センター 豊田 泉



※ ランチヨンセミナーは整理券制です。6:40より、パシフィコ横浜 会議センター 1階にて配布いたします。整理券は無くなり次第 配布終了となります。

共 催

STERS

NOBORI Ltd.

### 救急画像診断：遠隔画像診断支援で救急診療はどう変わる？

座長 濟生会横浜市東部病院 救急科 船曳 知弘



#### これだけは見逃したくない重要病態のCT診断：15分でツボを押さえる！

聖マリアンナ医科大学 救急医学 松本 純一

救急診療におけるCTの役割は、診断だけでなく治療方針決定においても重要である。救急搬送患者数は増え続け、特に、臨床所見が非特異的に留まることも多い高齢者の割合も増えている。このような状況の中、少ない人的資源で、迅速に、安全で、適切な診療を行うためには、CTを積極活用することが、choosing wiselyとなることもある。本レクチャーでは、これだけは見逃したくない重要病態のCT読影法につき、15分という限られた時間ではあるが、紹介したい。今夜から使える実践的な考え方を共有できればと思っています。



#### 断らない救急を遂行する為の夜間遠隔救急画像診断コンサルテーション

社会医療法人厚生会 木沢記念病院 救急部門 山田 実貴人

断らない救急を遂行する為、画像検査は重要な役割を担っている。しかし読影で低精度や、見落としにつながる事例も散見され当直医の負担となっている。多くの医師は専門分野画像には自信があるものの、他分野の画像になるとその能力と自信は低下する。救急外来や、当直では自分の専門分野以外の患者が多数受診し、この対応に不安があるので画像の取り控えや、とつても見落としをしていないか心配を消すことができない。これらを解消するために2013年10月より放射線科読影医による救急遠隔画像コンサルテーションを開始した。準夜帯は病院放射線科医が必要に応じて読影を行い、深夜帯はハワイで日本人放射線科医が全てのCT/MRIを読影し報告する。海外コンサルトは暫定とし、翌日当院放射線科医が確認し最終診断とした。特に救急画像読影は通常の読影と違うのは、結果で方針が変わる患者が目の前にいるということである。かつ必要であれば電話連絡等の討論をしながらの双方向性の診断が必要である。この方法は救急当直医の負担を軽減するだけでなく、より迅速正確な画像診断で医療安全や、患者予後にも貢献できると考える。利用医師のアンケート結果も踏まえ報告する。



#### 遠隔救急画像診断コンサルテーションの導入数か月後での評価

岐阜県総合医療センター 救命救急センター 豊田 泉

当院は同じ岐阜県の木沢記念病院での運用を参考に本年4月より遠隔救急画像診断コンサルテーションを行っている。導入後の数か月を振り返り、救急外来(ER)での有用性を報告する。1. 医療安全からのメリット……当院では複数名の専門医と研修医が夜勤を行っている。しかし、多数のWALK IN患者や救急搬送例が重なる場合には、その領域の専門医であっても、不十分な読影状態であることが度々あり、医療安全からも問題ありとされていた。本システムを導入後には、放射線科医の客観的なルーチン読影により、医療事故につながる可能性もあった例を問題無く対処することができた。2. 医師(研修医)のストレス軽減……当院では救急搬送例やWALK IN患者の初療をまず若い研修医が担う状況が多い。その後、上級医の確認やそれぞれの専門のオンコール医に依頼することとなる。「積極的に相談」をすることが原則であるが、深夜、早朝に「〇〇疑い」「〇〇の可能性」で、呼ぶことは、彼らにとっては、やはりストレスに感じるものである。より正確な診断を行うことで、互いに気兼ね無く相談が可能となり、また、医師の働き方の面でも効率化を図ることができた。